

# 沖縄銀行はピープルズバンクを目指します。

皆さま方には平素より私ども沖縄銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

当行は昭和31年の創立以来、「地域密着・地域貢献」という経営理念のもと、地域の中枢金融機関として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。これもひとえに地域の皆さまや株主の皆さまからの永年にわたる温かいご支援の賜と深く感謝いたしております。

このたび、当行についてのご理解をより一層深めていただくために、ここに「沖縄銀行ディスクロージャー誌2015中間期」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

国内経済は、輸出や生産面に新興国経済の減速に伴う影響が顕在化していることに対する懸念があるものの、国内需要は設備投資が緩やかな回復基調にあります。また、好調なインバウンド需要を背景にサービス輸出も堅調に推移していること、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費が底堅く推移していることから緩やかな回復に向かうことが期待されます。

県内では、那覇空港滑走路増設をはじめとして、那覇空港国際線旅客ターミナル関連工事などの公共工事や、県内の人口増加を背景とした住宅投資が高水準で推移したほか、観光関連においても、航空路線の拡充や大型クルーズ船の寄港などにより入域観光客は36ヶ月連続で前年同月を上回り、ホテル稼働率も好調に推移していることから、県内景況は総じて拡大の動きが強まりました。

このような環境のもと、地域の活性化に向けた成長分野への積極的な資金供給や、中小企業の経営改善・体質強化の支援など、地域金融機関に求められる役割は益々重要になってきております。

平成27年度より期間を3年間とする「中期経営計画 CHANGE FOR VALUE～新たな価値創造の3年～」を策定し、スタートいたしました。新たな価値創造の3年と位置づけ、「お客さま目線」の姿勢をもって、新たな時代に向けた「業務革新(チェンジ)」を具現化し、その定着により「お客さま目線の新たな価値(バリュー)」の創造を提供し、持続可能な新たなビジネスモデルの構築につなげ

ていきます。特に中期経営計画の初年度となる平成27年度は、業務の効率化やスリム化といった「お客さま目線の業務革新」に注力し、お客さまとの接点を強化することで、お客さまの期待を満たすという次年度のステージに向けて、更なるお客さまの利便性向上に向けて取り組んでまいります。

当行は、常にお客さまの期待に応え、地域社会に愛され、親しまれる銀行「ピープルズ・バンク」として、役職員一丸となってさらなる経営内容の充実、サービス向上に努めてまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続き格別のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年1月

取締役頭取 **玉城義昭**

